

エネルギーの安定供給

経済の発展と国民生活の向上にとってエネルギーの供給は不可欠な要素です。特にわが国は、豊富・低廉な海外石油を基礎としてきたため、石油危機において受けた打撃も大きく(図-1)、エネルギー資源の安定確保が重大な課題となっています。

今後10年間、エネルギーの需要は省エネルギー前年6.2%、省エネルギー後年5.3%と見込まれ、政策の重点は、①石油依存度の低減と非石油エネルギーの多様化、②石油の安定的確保、③省エネルギーの推進、④新エネルギーの研究開発の促進に置かれるべきとされています(図-2)。

電力需要も年率5.6%の増加が見込まれ、石油

火力の減少と、原子力およびLNG火力の増加が必要とされています(図-3)。

資料

- 1) 通商産業省編：昭和50年代のエネルギー、1975年11月。
- 2) 電気事業連合会：電気事業便覧、1975年版。

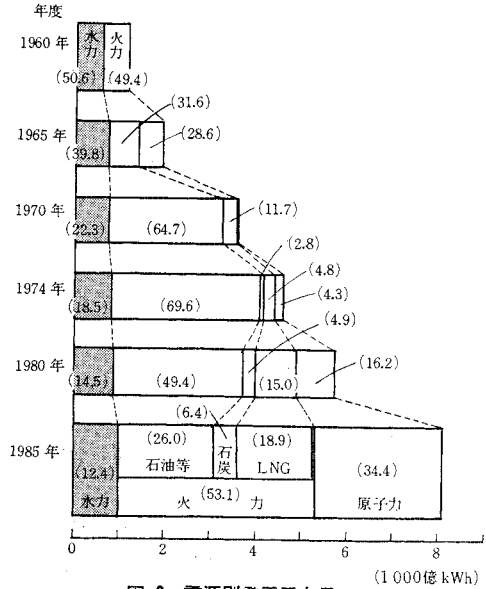


図-3 電源別発電電力量

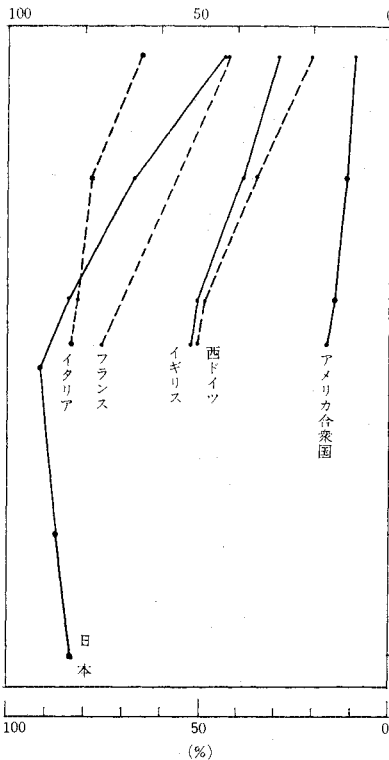


図-1 輸入依存率 (%)

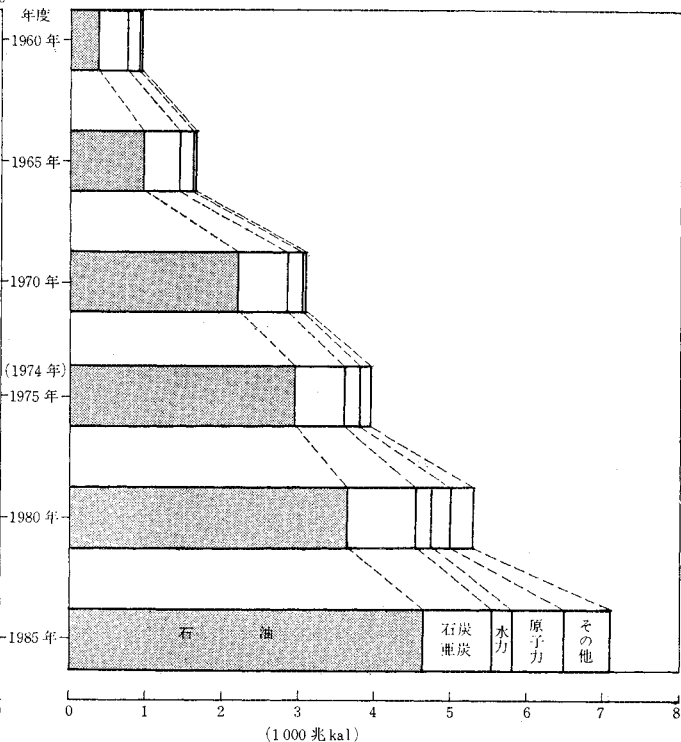


図-2 わが国のエネルギー供給量(一次エネルギー)